

# 鳥取こども学園 学園だより



第 15 号

2004年 6月 1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地

鳥取こども学園後援会

電話 (0857)22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎悌之助

## 子ども達の愛と関心の目を



鳥取こども学園 理事長 尾崎 悌子

近年、新築あるいは改築される小学校、幼稚園、保育園は、木の香りにあふれ自然のぬくもりを感じるやさしい建物が多いように感じます。木造の建物から受ける温かさで親しみやすさに惹かれながら、その玄関に目を向ける時、建物の雰囲気とはうらはらにびったり貼られた警備会社のシール

が目を奪います。子ども達の集う場所と、警備会社のシール、このアンバランスな組み合わせを私達はどのように受け止めたらよいのでしょうか。

ここ数年、学校を舞台にいくつもの不幸な事件が続き、私達の世代の持つ学校のイメージは大きく変わりました。入学式の日、先生が新人生とその保護者に一番強く語られることは、新しい友達との出会いの意義や学習の大切さではなくて、周りの不審者から身を守る術であると聞きます。又、保護者も、保護者を示すワッペンをつけていなければ学校や園の敷地に入ることは出来ず、校門も登下校時以外はびったりと閉ざされていると言われます。最も解放された場所、最も安全な場所であるはずの学校が、地域の人々は勿論、保護者さえ寄せつけず、その安全を警備会社に委ねなければならなくなっている現状に、私は言いようのない不安を感じます。

こども学園でも、防犯装置やマニュアルの導入、非常訓練の実施など色々検討しました。物理的な防止に限界と戸惑いを感じ

ながら話し合いを進めていく中で、私は一つの結論を得た思いをいたしました。それは園長の「最大の防衛はこども達に関心を持って注ぐ大人の愛の目である」という言葉でした。「関心を持って注ぐ愛の目」こども学園もこの愛の目から創立されたのではないのでしょうか。創立者尾崎信太郎が設立にあたった心の軌跡を、弟修三は「花形見」の中で次のように記しています。「弱き一道の冬の日さしにも力を受くる稚草をして、無情にも雪下に埋もれしむる事なく、来ん陽春の日に雨に、萌え出でしむる慈愛の手なき乎」と。信太郎の日露戦争孤児院へ向けた温かい愛の目が孤児院、現在のこども学園創設に至ったのだと思います。以来一世紀、こども学園は地域の人達をはじめとする温かな関心の目に支えられて来ました。

関心の目、愛の目を向ける対象は時代と共に変わって来ました。今私達は創立当時は考えも及ばなかったであろう防犯に対して目をむけなくてはならなくなりました。しかしどのような時代であっても私達一人ひとりが、深く大きく広い関心を子ども達に寄せ、温かい愛の目を見ひらけば、危険を未然に防止し、不幸な事件を防ぐことが出来ると思えます。学校が、幼稚園が、保育園が、どこよりも安全で、どこよりも開かれた場所になる日が来ることを祈ります。



町内の大祭に参加 2004.5.11

## 二〇〇三年度事業報告及び 二〇〇四年度事業計画

### 《法人本部》

神様のご恩寵と皆様の祈りに支えられて、当園事業が恵みのもとに進められました。ことに心より感謝申し上げます。

#### ◆二〇〇三年度事業報告

一、情短施設宿泊棟(第一児童棟大規模修繕及び倉庫新築工事が完了しました。おかげ様で正月明けから、こぼと、わかば、のぎく、しらゆりの四ホームの子ども達は、新しいホームで生活しています。

これで、養護、情短合わせて八ホーム全てが内部改修を終え、倉庫も整備されたこととなります。感謝です。

収入の部		
国1/2,県1/4補助金(通常文)	27,618,000円	
県1/8補助金(県任意分)	4,603,000円	
自己資金	10,044,650円	
合計	42,265,650円	
支出の部		
第一児童棟修繕工事(補助対象)	35,891,154円	
倉庫新築工事(補助対象外)	3,168,846円	
その他補助対象外工事	1,840,650円	
設計管理費	1,365,000円	
合計	42,265,650円	

二、虐待防止法が改正され、要保護児童対応の大型予算が組まれました。  
四半世紀かりのソーシャルアクション

#### ①児童養護施設ユニット型ホーム増設

収入の部		
国1/2,県1/4補助金(通常文)	12,678,000円	
県1/8補助金(県任意分)	0円	
自己資金	4,667,000円	
合計	17,345,000円	
支出の部		
主工事	16,905,000円	
主事務費	440,000円	
小計	17,345,000円	

#### ②ユニット化に伴う情短施設機能移設

収入の部		
国1/2,県1/4補助金(通常文)	9,528,000円	
県1/8補助金(県任意分)	1,588,000円	
自己資金	1,919,000円	
合計	13,035,000円	
支出の部		
主工事	12,705,000円	
主事務費	330,000円	
小計	13,035,000円	
合計	30,380,000円	

能移設(情短)工事を計画しました。

左記のとおりユニット型ホーム大規模修繕(養護)及びユニット化に伴う機能移設(情短)工事を計画しました。

#### ◆二〇〇四年度事業計画

一、「あざみホーム」新設とユニット型ホーム大規模修繕工事(養護)及びユニット化に伴う機能移設(情短)

被虐待児の相次ぐ入所で、養護系4ホームには常に幼児も含む十名の子ども達がひしめいている状態で、せめて一ホーム六名までにしたいとの願いから今年度4月から旧職員宿舎を利用して「あざみホーム」を新設すると共に、

ンを展開して、「虐待防止法改正・児童福祉法の改正」を求めてきましたが、この度の児童虐待防止法改正では、保護者ケアへの司法関与がほとんど3年先に見送られたとはいえ、自立援助ホームを防止法の中に位置付ける等、虐待対策予算の大幅な確保を見守る施設等にもたすものとなりました。

### 2003年度各施設の月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	3 7	4 7	4 7	4 7	4 7	5 7	5 7	6 8	6 8	6 8	6 8	6 7	59 88
情短施設	入所	28	28	28	27	27	29	28	28	29	30	30	340
	通所	10	10	10	11	10	12	13	13	14	14	14	145
	実人数：1,764人 延人数：3,534人												
子ども家庭支援センター希望館	実相談件数(電話187、来所215、訪問204)：579件、延相談件数(電話238、来所349、訪問206)：793件												
鳥取フレンド	12	12	10	10	10	11	11	13	10	10	11	11	126
保育所	155	152	155	158	162	162	166	167	168	169	168	168	1,950
子育て支援センター	利用家庭数	173	230	241	302	178	316	266	294	258	222	250	3,075
	一日平均	11	12	14	15	11	18	14	18	16	13	16	177

### 本部会計決算書

(収入)

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
補助金収入	62,759,000	62,909,250	150,250
寄付金収入	5,859,000	6,575,091	716,091
雑収入	990,000	1,217,571	227,571
繰入金収入	880,000	880,000	0
積立金収入	4,042,000	3,200,000	△ 842,000
合計	74,530,000	74,781,912	251,912

(支出)

(単位 円)

科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	1,929,000	1,935,649	6,649
元利償還金	2,352,000	2,352,420	420
繰入金支出	64,759,000	64,909,080	150,080
積立金収入	0	0	0
固定資産取得	5,490,000	5,490,900	900
合計	74,530,000	74,688,049	158,049

歳入歳出差引き残金 ¥93,863—は次年度へ繰り越す。

(注) 事務支出には退職給与金を含む。

《児童養護施設  
「鳥取こども学園」》

今年度は、ホームを一つ増やしました。職員も入れ替わりがあり、新しい職員が増えています。どうぞ宜しくお願いします。



栄養士  
寺尾 結希

事務所で覚える事が多く、わからない事もまだ沢山ありますが、不安に思っていた一人での朝食作りも出来るようになりました。

料理は、料理の出来上がりや調理方法で材料の切り方を変えたり、食事時間に料理が仕上がるように先を考えないといけません。今の私には余裕がなく、先を考えることが出来ない時もありますが、早く全体を見ることが出来るようになり、そして子ども達においしいご飯を食べてもらえるように頑張っていきたいと思っています。



ふじ 児童指導員  
福地 佳恵

毎日、子ども達から元気をもらい、色々な事を教わっています。一日一日を大切にしながら、子ども達や先生方と学園生活を送っていきたいと思っています。



ひまわりセラピスト  
平岡 朋洋

子どもたちと向き合う、寄り添う、子ども自身の

力を信じ、尊敬する。自然体でいながらも考えたいです。生活のなかで、ともに歩めるよう努力したいと思っています。



たんぼぼ 児童指導員  
山名 康之

学園に来て間もないのですが、日々悩み、日々考え、自分を見つめ直しています。子ども達の無限の可能性を信じ、共に成長していけるよう頑張ります。



たんぼぼ 保育士  
山崎 江美

毎日、先生方や子ども達に教わることはかなりの日々です。色々な体験を重ね、子どもと共に成長していきたい、支えとなる保育士になれるよう頑張っていきたいと思っています。



さくら 児童指導員  
山田 圭子

子ども達の笑顔と自分の笑顔が絶えることのないよう、元気いっぱい過ごしていきたいと思っています。笑顔があれば頑張れます。



あざみ 児童指導員  
松永 博史

子ども達と学園での生活と一トしました。野に咲く薊のように、ホームにも皆それぞれの花をさかせられるよう頑張ります。

児童養護施設 施設会計決算書

科目	予算額	決算額	比較増減(△額)
措置費収入	138,734,000	138,787,562	53,562
補助金収入	10,693,000	10,693,183	183
寄付金収入	150,000	150,000	0
雑収入	8,000,000	8,235,412	235,412
引当金戻入	1,000,000	1,000,000	0
合計	158,577,000	158,866,157	289,157

科目	予算額	決算額	比較増減(△額)
事務費支出	120,854,000	120,110,847	△ 743,153
事業費支出	34,723,000	35,420,717	697,717
引当金繰入	3,000,000	3,000,000	0
合計	158,577,000	158,531,564	△ 45,436

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥334,563—は次年度へ繰り越す。

- 〔学園関係〕  
(平成十五年十二月～十六年五月)
- 12月5～8日 高校生体験旅行②(1名) 東京都
  - 7日 鳥取いなばライオンズクラブ・餅つき大会
  - 14日 学園クリスマス祝会
  - 24日 クリスマスイブ・ホームパーティー
  - 1月2日 OBすき焼き交流会
  - 6日 四施設合同新年会
  - 13日 学園創立記念日
  - 15日 希望館通所部門・とんど焼き
  - 15～19日 児童福祉展(大丸)
  - 18日 鳥取ライオンズクラブ・卓球大会
  - 2月14～15日 高校生会・スキー合宿(氷ノ山スキー場)
  - 3月8日 希望館通所部門・卒業生を送る会
  - 10日 高校生会・卒業生を送る会
  - 4月29日 新日本プロレス招待
  - 5月1日 児童福祉週間・こいのぼり掲揚式(こどもの国)
  - 4日 ゴスペルコンサート招待(市民会館)
  - 15日 鳥取ライオンズクラブ・いちご摘み、お菓子作り招待
  - 16日 鳥取中央ライオンズクラブ・しいたけ原木、かぶとむし幼虫設置
  - 23日 学園こども祭り



「情短施設」希望館

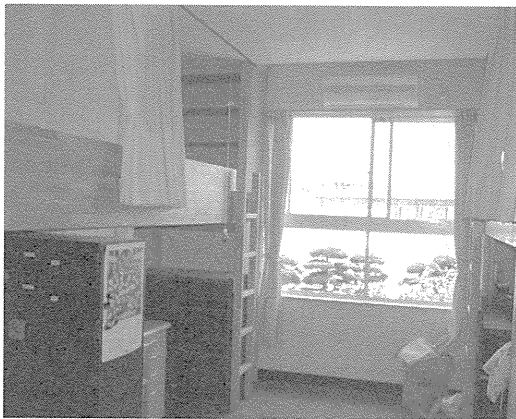
希望館は、オープンして今年で十一年目に入ります。昨年暮れには、老朽化していた第一児童棟（入所部門の宿泊棟）の大規模修繕工事も完了し、各部屋には冷暖房も完備され、高年齢には、念願の個室も与えられ、快適な生活空間のなかで新年を迎えることができました。子どもたちも、真新しい床やベット、清潔で明るい室内に大満足です。生活の場が居心地のよいものかどうかは、一日の大半をここで過ごす子どもたちの心の安定にも大きな影響を及ぼします。

そんななかで、今年度末には、入所部門は十名の子もたちが、各々、家庭復帰や専門学校や就労へと巣立っていきました。通所部門は九名の子もたち全員が高校進学を果たしました。今年度に入って、さらに新たな入所者を迎え、入所部門は二十七名（定員三十名）、通所部門は八名（定員十五名）でスタートしています。

十年前のオープン当初の頃を振り返ってみると、子どもたちの問題や症状の現れかたは、ずい分変わったなあとは思いますが、人間の本质まで変わったわけではなく、今も昔も、人は大人も子どもも、自分のもてる力を発揮したい、それを人に認めてもらいたい、人を愛し、愛されたいという気持ちは普遍的なものとして

あると思います。

しかし、誰にもあるこのような欲求を、どうしてもうまく表現できない、満たされない不快感を強く抱いているのが、子どもたちの希望館にいる子どもたちです。言い換えれば、自尊心を大切にされた体験に乏しく、対象関係に満足しておらず、経験が意味あるものとして蓄積されていないため、全般的に育ち直りが必要とされている子どもたちが、私も職員と生活を共にしているところが希望館なのです。育ち直りを支援するために心掛けていること、それは何気ない日々の営みを大切にしていくということです。日常生活のふとした出来事が心の回復や精神的成長の契機になることも多く、身近な大人の言動や、職員同志の人間関係は子どもにも大きな影響を与えます。



明るくなった居室

情短施設 施設会計決算書

(収入)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	143,622,000	143,296,888	△ 325,112
補助金収入	40,001,000	40,151,352	150,352
寄付金収入	510,000	535,887	25,887
雑収入	2,950,000	3,062,317	112,317
引当金戻入	6,501,000	6,354,778	△ 146,222
合計	193,584,000	193,401,222	△ 182,778

(支出)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	167,784,000	167,792,390	8,390
事業費支出	25,800,000	25,608,832	△ 191,168
引当金繰入	0	0	0
合計	193,584,000	193,401,222	△ 182,778

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥0ーは次年度へ繰り越す。

「みどり園関係」

- 12月20日 クリスマス祝会
- 1月21日 伝承あそび(祖父母と一緒)
- 21～23日 参観日週間
- (23日講演会・給食試食会)
- 2月13～16日 作品展
- 17日 修立小学校体験入学(年長児)
- 19日 わくわく子育て支援センター「育児講座」
- 20日 講師 北川民枝氏
- 22日 シルエット観劇(年長児)
- 24日 鳥取県子ども家庭育み協会
- 3月3日 交通安全教室(保護者会主催)
- 11日 ひなまつり
- 17日 平成十六年度入所児説明会&身体検査
- 17日 お別れ会
- 27日 第五十三回卒園式
- 4月1日 進級式
- 3日 第五十四回入園式
- 6日 お花見会
- 27日 春の親子遠足(こどもの園)
- 5月1日 保護者会総会
- 27日 こいのぼり掲揚式に参加
- (こどもの園・年長児)
- 「育児講座」
- 講師 田尻光昭氏



腹話術(交通安全教室) 鳥取みどり園

《保育所「鳥取みどり園」》

輝きふれあい  
育ちあい

園長 入江 一 枝

当園では、五月中旬から一日二〜三軒のペースで全家庭を対象に家庭訪問を行っています。一人

ひとりの子どもの背後にあるものを目で見て、耳で聴いて確認できるものを通して、あるがままの子どもの全体を心で感じたいと願っているからです。見えないものを見ることは、見えるものに惑わされず、しかし見えるものを手がかりにする、全人的な触れ合いから可能なるものだと思います。神さまに愛され、大切にされている一人ひとりを丸ごと受け入れて、共に育ち合う保育をしていきたいと思えます。



異年齢での遊び（鳥取みどり園）

今、やはり言葉のようになった「次世

代育成支援」。少子化の進行を踏まえ、次代を担う子どもたちが健やかに育成される環境を整備するための「次世代育成支援対策推進法」が施行されました。保育園は、家庭養育の補完としての役割を担っていますが、今やその存在は、保育に欠けるか否かを問わず、地域の育児力の再生のためにはならない存在となりつつあります。

子どもたちに輝く未来を保障するため次世代育成支援の中で、積極的な役割展開をしていくと共に、よりよい保育環境を実現するため、職員が一丸となっ

てよき働きをしていきたいと思えます。今年度も「子育て支援センター事業」を初め、昨年度同様の特別保育事業を実施していますので、よろしくお願いいたします。

「お母さん、ご一緒に  
子育てをしましょう！」

わくわく子育て支援センター  
指導者 田淵陽子

わくわく子育て支援センターは、今年度で八年目を迎えます。この間には、沢山の出会い、ふれあいがあり、支え合う子育ての輪が広がってきました。「この一年間、子育て支援センター無しでの生活なんて考えられなかった」「センターに来ると他のお母さんや先生と一緒にせいか、子どもも親もゆったりとした気持ちになれる。双子なので、一人ひとりを十分にみてやれないのでは……という不安もあったが、他のお母さん方や先生に遊んでもらって精神的に助かった」「初めての子どもが、育児の不安や悩みが多かった頃、子育て支援センターの存在を知った。通っている内、我が子ののびのびと楽しんで遊んでいる姿を見て嬉しく、また、自分も子どもと一緒に少しずつ成長していると思った」などは、昨年度利用されたお母さん方の感想です。改めてセンターが地域に根ざし役割を果たしていることを感じます。これからも地域に愛され信頼され安心できる場であり、共に悩み、考え、育ち、みんなで支え合うセンターでありたいと思えます。

保育所 施設会計決算書

(収入)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
運営費収入	126,289,120	126,422,830	133,710
補助金収入	26,562,989	26,611,076	48,087
寄付金収入	360,000	332,000	△ 28,000
雑収入	1,812,559	1,828,375	15,816
利用料収入	355,000	451,470	96,470
引当金戻入	2,174,000	2,000,000	△ 174,000
合計	157,553,668	157,645,751	92,083

(支出)			
科目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	137,703,408	137,685,530	△ 17,878
事業費支出	18,970,260	18,799,323	△ 170,937
繰入金支出	880,000	880,000	0
引当金繰入	0	0	0
合計	157,553,668	157,364,853	△ 188,815

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ￥280,898—は次年度へ繰り越す。

《子ども家庭支援センター「希望館」》

家庭支援センターにおける平成十五年の相談件数は、実件数約六百件、延件数約八百件となりました。相談内容はお子さんの発達に関する相談、不登校に関する相談、家族関係や人間関係に悩んでおられる相談など様々でした。相談をされる方は、多くの場合が子育ての中心になつておられるお母さんからのものであり、当センターでは、まずお母さんの負担、苦労や心配事が少しでも楽になるようにと考えて対応してきました。

また、昨年度は、相談窓口のパンフレット「子育てSOS支援ネットワーク」を県内の全小学生、中学生をおして保護者の皆さんに配布し、子育てをされている方の相談を広く受けられるようにしました。

今年度は、昨年同様に相談窓口のパンフレット「子育てSOS支援ネットワーク」の配布に加え、県内の小学四年生から高校生までのすべての子どもに相談窓口の携帯用カード「困った時は電話をかけよう」を配布し、子どもたちの悩みにも応えたいと考えています。

平成15年度子ども家庭支援センター「希望館」センター実績

①相談方法別件数

相談方法	実件数	延件数
電 話	187	238
来 所	215	349
訪 問	204	206
その他	0	0
合 計	606	793

③夜間の対応、及び一時保護件数(延べ件数)

夜間の対応			一時保護	
来所	電話	訪問	件数	平均所要時間
14件	18件	1件	1件	36時間

②相談内訳別件数(実件数)

養 護 相 談 虐待(再掲)	保健相談	障害相談	非行相談	育 成 相 談					その他の相談	合 計	いじめの相談	
				性格行動相談	不登校相談	適正相談	しつけ相談	小 計				
37	13	10	55	7	149	64	167	36	416	81	606	14

子ども家庭支援センター「希望館」会計決算書

(収入) (単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
補助金収入	9,564,000	9,564,000	0
(支出) (単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	9,564,000	9,564,000	0

《自立援助ホーム「鳥取フレンド」》

フレンドは、家庭や施設などの安定した生活基盤を持たない少年達が、社会人の仲間入りをしていくため、自立に向けての「止まり木」として利用していく場所でもあります。

仕事をする、ということが、ここでのひとつの大きな目標となります。入寮する彼等は中卒や高校中退であることも少なくなく、不況の中、仕事を見つけることだけでもひと苦労です。しかし、昨年度は、ほとんどの寮生が仕事につき、転職などを経験した寮生もいましたが、彼らはほぼ毎月、給料をもらってくる事ができました。給料から寮費を払いに職員の前でやってくる彼らの誇らしげな顔は、月を追うごとに自信を深めていきました。

今年三月には、三人の寮生がフレンドを退寮し一人暮らしを始めました。しかし彼等にとつてそれは自立への第一歩にすぎません。フレンドという「止まり木」を飛び立ち、社会に一歩足を踏み入れたのですから、それだけ苦労は増えるでしょう。フレンドは、退寮後もたくましく生きていかなければならない彼らを見守っていく存在でもあります。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計収支決算書

(収入) (単位 円)				(支出) (単位 円)			
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額	科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
補助金収入	8,182,000	8,182,000	0	事務費支出	8,971,000	8,963,617	△ 7,383
寄付金収入	0	0	0	事業費支出	3,400,000	2,986,575	△ 413,425
利用者負担金収入	1,066,000	987,988	△ 78,012	引当金繰入	600,000	0	△ 600,000
雑 収 入	1,992,000	2,166,600	174,600	合 計	12,971,000	11,950,192	△ 1,020,808
引当金戻入	0	0	0				
繰越し金収入	1,400,000	1,400,000	0				
前年度繰越し	331,000	331,093	93				
合 計	12,971,000	13,067,681	96,681				

(注) 雑収入には家裁、保護観察所からの保護委託費を含む。  
歳入歳出差引残金 ￥1,117,489-は次年度へ繰り越す。



### 当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

2003年度(2003年4月~2004年3月)の後援会費・寄付金は、総数224件、総額で1,697,820円となりました。心より感謝申し上げます。

#### 寄付者(2003.12~2004.5)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名	
愛真幼稚園 あけの星美子	湖山教代会 坂井本巻江オ水石田村教員会 坂酒3土シ清下霜社 正白仁杉芹曾大イゲンイコ	会美子章子代 教芙克佐の浜ソ雅洋 委員陸 督道統英琢修真 和伊薫伸愛佳儀耕政 義広敏克 厚小寺子弘 博倫教 ハンナ	鳥取県教職員組合東部支部 勸鳥取県労働者福祉協議会東部支部 鳥取市立城北小学校PTA 鳥取白バラ乳販(株) 鳥取新生教会 鳥取友の会 鳥取みどり園 鳥取ライオンズクラブ 村おのけの 井井文正康 川川輝房忠裕瑠璃二義幸 野松村山尾原 間田辰郎正久庸源実興雅操 古堀巻政松 田先寿克則 見オソ 立小海新聞社 須崎伸子	松田章津宏 松原雅彦文雄 松本一 松上上木博康 松島谷谷脇尾田部口白田中根青本本本村浜山田田 永辺 津好 文 亭 上木島谷脇尾田部口白田中根青本本本村浜山田田 内口白田中根青本本本村浜山田田 登史智徳浩大伸義國雄秀初道禮 省登史智徳浩大伸義國雄秀初道禮 省登史智徳浩大伸義國雄秀初道禮

#### 物品寄付者(2003.12~2004.5)

氏名	氏名	氏名	氏名
愛真幼稚園 伊達季代子(愛真幼稚園)	大杉陽子 加藤健二郎 北尾慎一 木村(鳥取ライオンズ) 银杏泰利・京子 光琳グループ猪口吉野 井上恭子(国際ソロプチミスト鳥取) 骨とうランド	真田先生 澤田寿彦 塩見克則 シオソ 資生堂社会福祉事業財団 修立小学校 新日本海新聞社 須崎伸子	大樹寺 竹中工務店(株)鳥取営業所 谷口眞理子 東京三菱銀行 鳥取家畜保健衛生所 古田純徳 有田勝徳 鳥取更正婦人会長山本和子

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
日本鏡餅組合 福田公義 船越和女 フラワー工房 HaRu 細川ゆかり	マスミ商事 松原菜津子 松原奈穂佳・千恵子 松山はるゑ 宮永克枝	太田(メイプル) 森岡正治 森川めぐみ 山田太郎 山本(鳥取教会)	やまもと(有) 山本 潔・有希 吉田 弘 美 米澤 恒 則 渡辺 曾 子 無 名 氏

鳥取子ども学園後援会 2003年度収支決算書

(収入) 自H15.4.1 至H16.3.31 (単位 円)

科 目	金 額			摘 要
	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	
後 援 会 費	1,697,820	1,535,914	161,906	一時金含む224件 昨年207件
雑 収 入	24	85	△ 61	預金利息
前年度繰越金	1,494,034	3,454,016	△ 1,959,982	14年度繰越
合 計	3,191,878	4,990,015	△ 1,798,137	



鳥取子ども学園  
同窓会のご案内

毎年、盆の8月14日  
と正月の1月2日の  
夕方6時半に学園の  
地域交流ホームで、  
同窓会を行っています。  
なつかしい顔に会え  
ますので、お気軽に  
おいでください。

(支出) (単位 円)

本部会計へ寄付	2,150,000	2,150,000	0	自立援助ホーム140万円 地域交流ホーム75万円
役 務 費	15,870	13,200	2,670	振り込み手数料
施設会計へ寄付	0	10,000	△ 10,000	自立援助ホームへ
部 活 支 援	168,660	272,781	△ 104,121	遠征旅費、チームジャージ 鳥取県トレセン費用他
ホーム改装料	0	1,050,000	△ 1,050,000	地域交流ホーム改装費
雑 費	21,000	0	21,000	生花他
合 計	2,355,530	3,495,981	△ 1,140,451	

収入支出差引残金 ￥836,348-は次年度へ繰越す。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取子ども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」は何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

お陰様で、1981(S.56)年に借りた5千万円の借金の返済(毎年元金249万円×20年)が、完了しました。まだ毎年、元金188万円の返済が残っていますが、昨年の教育・治療棟の建設でも借金をせずに済ませることができました。感謝! 今後は、子どもたちへの処遇強化に努めたいと思います。更なるご支援をお願いします。

1. 「鳥取子ども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内  
☎(0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎淑子  
振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812  
鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子や計理状況、ご寄付等の報告と、お礼を申し上げる意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆様の便宜を考えてのことです。ご無理のないようお願い申し上げます。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。